

日本学術会議総合工学委員会
ICO 分科会(第 26 期 第 7 回)
議事要旨

日時:令和 8 年 3 月 31 日(火)10:30～11:40

場所:オンライン

出席者: 荒川泰彦委員長、松尾由賀利副委員長、馬場俊彦、美濃島薫;各幹事、笹木敬司、
清水祐公子、中野義昭、西澤典彦、納富雅也、早瀬潤子、松尾慎治;各委員

配布資料

- 7-1 前回議事要旨
- 7-2 分科会の活動報告
- 7-3 ICO の状況報告
- 7-4 シンポジウム資料

議題

(1) 前回議事要旨の確認

資料 7-1 にもとづき、松尾(由)副委員長が前回議事要旨を説明、確認した。

(2) 分科会の活動報告

資料 7-2 にもとづき、荒川委員長より、分科会の活動報告を総合工学委員会に提出した旨の説明があった。本報告は国際学術団体への対応やシンポジウム開催実績を含む。

(3) ICO の活動状況報告

美濃島幹事(ICO Vice-president)より、資料 7-3 にもとづき、2025 年 7 月以降の活動報告が行われた。主な内容は以下のとおり。

1. ICO Bureau Meeting が 2025 年 11 月 17 日にボリビアで開催された。美濃島幹事を含む多くの委員は参加できなかった。次回は 2026 年 4 月 8 日にオンライン、次々回は 2026 年 7 にリスボンで開催予定。
2. ICO Awards について紹介。ICO Prize(40 歳未満)の締切が 4 月 15 日なので、積極的な推薦をお願いしたい。ICO-IUPAP Early Career Scientist Prize in Optics Medal は PhD 取得後 8 年以内。
3. ISC の活動に関する意見交換・交流会が 2026 年 3 月 19 日オンラインで開催された。ISC 副会長、分科会、加盟国際ユニオン等から日本学術会議関係者ら 40 名程度が参加。ISC 理事会の近況、ユニオンの連携の在り方、科学の自由と責任、国際会議開催が難しくなっている現状、データ・AI 活用の在り方などが議論されたとの報告があった。

(4) シンポジウム開催について

馬場幹事より、資料 7-4 にもとづき、国際光デーシンポジウム 2026 の開催について提案があった。コロナ以降も本シンポジウムは拡大しており、本年も開催することを決定した。開催日程は、7 月 3 日。講演は異なる分野からの 4 件とし、ポスター発表も行う。テーマおよび講演者について意見交換を行った。

後日、岡野原大輔 (Preferred Networks)、藤岡慎介 (大阪大学)、小川美香子 (北海道大学教授)、井口聖 (国立天文台) の各氏に講演を受諾いただいた。

(5) その他

次回の ICO 分科会は、2026 年 7 月 3 日、シンポジウム開催前に行う。

以上
(松尾(由)記)